

業界初[※]製造時に CO₂を製品内部に吸収・固定化した壁紙を開発

カーボンリサイクル型のビニル壁紙『e-タン クロス』

アキレス株式会社(本社:東京都新宿区、社長:日景一郎)は、新製法により CO₂(二酸化炭素)を製品内部に吸収・固定化した、カーボンリサイクル型のビニル壁紙を業界で初めて開発しました。

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、幅広い業界・分野で CO₂排出量削減に向けた取り組みが進められています。当社としても環境配慮型技術・製品の開発を推進し、日常の業務活動においても CO₂削減の取り組みを進めています。その中で今回、ビニル壁紙の製造において通常用いられる鉱山由来の天然炭酸カルシウムに替えて、大気中に排出される排ガス中の CO₂を固定化した合成炭酸カルシウムを配合し、当社従来品と変わらない物性や機能を実現する新製法を確立しました。本製法によるビニル壁紙(特許出願済)では製品重量の約10%が排ガス中の CO₂を固定化したものとなります。内装材として業界で初めてとなるカーボンリサイクル型のビニル壁紙として、『e-タン クロス』(商標登録出願済)の製品名で2023年中に提供を開始する予定です。

当社は本製法を活かし、新たな製品開発や用途拡大を図り、カーボンニュートラルの実現に貢献していきます。



写真:カーボンリサイクル型ビニル壁紙『e-タン クロス』

※ビニル壁紙製品として内装材業界初(2023年3月末時点、当社調べ)。

今回発表の概要

■ビニル壁紙に CO₂を閉じ込める新製法を確立

天然炭酸カルシウムに替えて、大気中に排出される排ガス中の CO₂を固定化した合成炭酸カルシウムを配合する製法を新たに確立。ビニル壁紙製品重量の約 10%が CO₂を固定化したものです。

■従来製品と同等の物性、機能を発揮

新製法により CO₂を製品内部に固定化したカーボンリサイクル型のビニル壁紙を内装材業界で初めて実現しました。

■『^{イー}e-タン クロス』の製品名で提供予定

本製品は 2023 年中に提供を開始する予定です。